

「新たな教師の学び」を支える協働のために 学校における学び合うコミュニティの展開と教師教育改革の展望

2022年12月19日に中央教育審議会から『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について～「新たな教師の学びの姿」の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成～(答申)』が出された。ここで「新たな教師の学びの姿」として、子供たちの学び(授業観・学習観)とともに教師自身の学び(研修観)も転換し、教師にも「主体的・対話的で深い学び」が求められることが改めて確認された。

本フォーラムではこれまで、理論と実践の往還・融合、教員免許更新制廃止後の研修改革、教員養成フラッグシップ大学構想といった点から教師教育改革の展望を共有してきた中、学び合うコミュニティを培う校内研修とそのネットワークが改革の重要基盤となることが前回改めて確認された。学校を教師が学び合うコミュニティとして持続的に発展させるために、どのような取り組みが求められるか。福井の公立中学校での実践の展開を事例にした前回に続き、今回は福井の公立高校での取り組みに注目したい。以前は高校での校内研修がなかなか進まないと言われることがあった中、少なくともここ数年の福井県内の公立高校の中には、確実に校内研修を進展させている学校が多数あり、地殻変動とも言える状況となっているからである。

今回は特徴的な取り組みを展開している2つの県立高校の実践事例を共有しながら、学校で教師が持続的に学び合うことを支える教師教育改革の展望を探りたい。

趣旨説明

情勢報告： 中教審答申後の教師教育政策の動向

文部科学省 総合教育政策局 教育人材政策課 教員養成企画室長 小畑 康生

実践的提案1：

福井県立若狭高等学校 教諭 兼松 かおり

実践的提案2：

福井県立武生高等学校 教諭 辻崎 千尋

コメント

独立行政法人 教職員支援機構 理事長 荒瀬 克己
他

省察と展望

福井大学大学院連合教職開発研究科長・教授 柳沢 昌一

〈コーディネーター〉 福井大学 理事(企画戦略担当)・副学長 松木 健一
福井大学大学院連合教職開発研究科 准教授 遠藤 貴広

【参考資料】これまでの歩み①

2021 Spring Sessions 2021年2月20日(土) 10:00-12:00

「理論と実践の融合」への企図 その現段階

教職大学院の展開をめぐる当事者としての省察と展望のために

挨拶

福井大学 理事(企画戦略担当)・副学長 松木 健一

趣旨説明

福井大学大学院連合教職開発研究科 准教授 遠藤 貴広

報告1: 拠点校方式における指導と連携の実際

信州大学大学院教育学研究科 高度教職実践専攻 教授 畔上 一康

報告2: 大阪教育委員会と大阪教育大学の連携による 現職教員のためのカリキュラム改革

大阪教育委員会事務局 総務部 教育政策課 大学連携企画担当課長 比嘉 直子

報告3: 教員育成指標に基づいた資質能力を育成する教員研修について ～福井大学連合教職大学院との協働を通して～

福井県教育総合研究所 教職研修センター長 山内 康司

提案

福井大学大学院連合教職開発研究科長・教授 柳澤 昌一

コメント

文部科学省 総合教育政策局 教育人材政策課 教員養成企画室長 齋藤 潔

〈司会〉 福井大学大学院連合教職開発研究科 客員教授 寺岡 英男

【参考資料】これまでの歩み②

2021 Summer Sessions 2021年6月19日(土) 10:00-12:00

「理論と実践の融合」への企図 その現段階(2)

教職大学院の展開をめぐる当事者としての省察と展望のために

趣旨説明

福井大学 理事(企画戦略担当)・副学長 松木 健一

報告1: 「理論と実践の融合」をめぐる諸問題とその考察の多視的展開

兵庫教育大学大学院学校教育研究科 教授 山中 一英

報告2: 理論と実践の関係を問い、考え続ける教師へ

岐阜大学大学院教育学研究科 教職実践開発専攻 教授 石川 英志

報告3: 大学における教員養成の実情から教師教育の理念を問う

——学部教職課程との連動の様相に注目して——

福井大学大学院連合教職開発研究科 准教授 遠藤 貴広

福井大学大学院連合教職開発研究科 准教授 笹原 未来

福井大学大学院連合教職開発研究科 准教授 隼瀬 悠里

提案

福井大学大学院連合教職開発研究科長・教授 柳沢 昌一

コメント

文部科学省 総合教育政策局 教育人材政策課 教員養成企画室長 齋藤 潔

今後の展望

〈司会〉 福井大学大学院連合教職開発研究科 客員教授 寺岡 英男

【参考資料】これまでの歩み③

2022 Spring Sessions 2022年2月19日(土) 10:00-12:00

「新たな教師の学び」を支える協働のために 更新制講習以後の研修改革の展望をどう描くか

趣旨説明

情勢報告：教師の資質能力の向上をめぐる施策の動向

文部科学省 総合教育政策局 教育人材政策課 教員養成企画室長 小畑 康生

実践的提案1：教師の主体的・対話的で深い学びとそれを支える研修の在り方

独立行政法人 教職員支援機構 理事長 荒瀬 克己

実践的提案2：今後の教員研修とそれを支える組織協働

福井大学 理事(企画戦略担当)・副学長 松木 健一

コメント

福井県教育総合研究所 所長 北川 裕之

山口大学 教育学部 教授 和泉 研二

宮古島市立教育研究所 所長 平良 善信

コメントを踏まえて 報告・提案者による再定位

今後の展望・提案

福井大学大学院連合教職開発研究科長・教授 柳沢 昌一

〈司会〉

福井医療大学 保健医療学部 教授 寺岡 英男

福井大学大学院連合教職開発研究科 准教授 遠藤 貴広

【参考資料】これまでの歩み④

2023 Summer Sessions 2022年6月18日(土) 10:00-12:00

「新たな教師の学び」を支える協働のために 教員養成フラッグシップ大学構想と養成・研修改革の展望

中央教育審議会「令和の日本型学校教育」を担う教師の在り方特別部会「審議まとめ」(2021.11.15)の提起を受けて行われた2022年2月のラウンドテーブル特別フォーラムでは、教育改革を担う教師の学びの在り方、教師自身の「主体的・対話的で深い学び」を実現していくことの必要性と重要性をめぐる提起を受け、地域と大学における新たな教師の学びへの企図が共有された。具体的には、文部科学省 総合教育政策局 教育人材政策課 教員養成企画室長の小畑康生氏による情勢報告と、独立行政法人 教職員支援機構 理事長の荒瀬克己氏による方向定位を受け、福井大学(松木健一)、福井県総合教育研究所(北川裕之氏)、山口大学(和泉研二氏)、宮古島市(平良善信氏)より、地域と大学を結び教師の学びを支える取り組みの展開が提起された。

今回のセッションでは、前回の提起を踏まえ、更新制講習以後を見据えた研修改革へのその後の動き、さらに3月に文部科学省より4大学に指定された教師教育改革のための教員養成フラッグシップ大学の構想を視野に入れながら、実践の場である学校と大学・研修機関を結び、教師の「主体的・対話的で深い学び」の持続的な展開を支える組織的な取り組みのための、より具体的な構想と組織的な実践へと問いを進めていくこととしたい。

趣旨説明

実践的提案1：大阪教育大学における協働・省察を促す教員養成カリキュラムへの企図

大阪教育大学大学院連合教職実践研究科主任・教授 峯 明秀

実践的提案2：学び合うコミュニティを培う校内研修とそのネットワーク

福井県小浜市立小浜第二中学校長 加福 秀樹

福井大学大学院連合教職開発研究科長・教授 柳沢 昌一

実践的提案3：主体的・対話的で深い学びにつながる校内研修と学びの記録を

独立行政法人 教職員支援機構 理事長 荒瀬 克己

コメント

文部科学省 総合教育政策局 教育人材政策課 教員養成企画室長 小畑 康生

省察と展望

〈コーディネーター〉 福井大学 理事(企画戦略担当)・副学長 松木 健一
福井大学大学院連合教職開発研究科 准教授 遠藤 貴広